

演技実習・俳優術

主任:大潤弘幸

演劇とは何か、特に子どもを観客とした演劇とは?さまざま角度から子どものための演劇を考えていきます。まずは子どもと触れ合うこと、子ども時代の遊びなどを通して、今の子どもに何を届けたいのかを考え、実際に芝居創りをしていきます。その中で、自分に向き合い、相手に向き合い、社会に向き合いながら、進めていきます。卒業公演は受講生と講師たちが丸となって創ります。

おもな講座

◆遊びから表現へ 大潤弘幸(おおまひろゆき)

劇団風の子付属児童演劇研究所講師・演出

【概要】さまざまな遊びを展開しながら、芝居の表現の可能性を探る講座です。

◆acting 大谷賢治郎(おおたにけんじろう)

company ma 主宰。演出家。アシテジ日本センター理事。

桐朋芸術短期大学非常勤講師。

【概要】重心、方向性、緩急、高低、距離、関係性などを意識化する俳優の基礎訓練。

◆朗読 伊藤克(いとうかつみ)

東京演劇アンサンブル所属。『かもめ』(チェーホフ)や、『ガリレイの生涯』(プレヒト)など代表作多数。NHKアクターズゼミナールを始め指導経歴も豊富。

【概要】日本語の言葉の美しさを大切に、空間を認識した発声と、テキストの言葉を意識した読み方の基礎的な訓練のための初級講座。

音楽

主任:菊池大成

音楽の授業では、聴くこと、歌うこと、楽器を作ったり触れたりすること、歌詞や音楽を作りたいと思っていますが、個々の音楽的技量や知識は重要なファクターではなく、授業に関わる皆さん同士が言葉や笑顔を交わし、生まれた音を互いに認め合うことによって新たな知見に到達する…そんな広い意味での《アンサンブル》の構築を何よりも大切に、授業の最後には受講生オリジナルの楽曲の創出と発表をしたいと考えています。



人形劇

主任:友松正人

自分以外のモノを遣って演じることに取り組みます。いくつかの様式の人形などを遣って、色や形、動きやポーズや位置取りによって表現を作り上げることを体感し、その魅力を高めるための技術について考察します。言葉以外での表現ツールは演劇、特に児童青少年演劇においては重要な要素です。モノや人形で演じる際に留意すべき具体的な事柄を実感し検討することを通じて演劇的表現の感覚を深めることを目指します。

予定講師

くすのき燕、栗原弘昌、佐藤達雄、友松正人、永野むつみ、中村孝男、山田俊彦、渡辺真知子ほか

【概要】モノが生きているように見えるのは、モノの動きの中に意図を感じるから。モノの形、ポーズ、空間の切り取り方に、意味を見出すから。モノに目を発見し、視線=注意している方向を共有して、モノの気持ちを想像するから。「非言語表現ツール」は、あらゆる演劇にとって重要なものです。児童演劇においては、特に有効なものです。具体的な人形劇の表現ツールを体験することから、演劇的表現についての感覚を深めたいと思います。

身体で見つめる演劇

主任:原田亮

舞台の上に立つ役者の肉体は、強靱かつ軽やかさを持っていないといけない。そのための芝居に必要な役者の身体能力向上を目的としたトレーニング。また、イメージしたことを身体に届け表現するために必要な技術力取得。様々な身体メソッド、ダンスを駆使し、自分(癖や姿勢)を発見し、また新たな自分(表現力)を発掘していく。そしてクラスの中で、身体的な作品創作(ディヴァイジング)を行なっていく。

◆からだと表現 若林こうじ(わかばやしこうじ)

西田舞踊団ダンサー20年、初期仮面ライダーショーショッカー歴15年、日本舞踊客演20年、太鼓と芝居のたまこ座振付出演30年、劇団風の子創作スタッフ・トレーナー10年。1983年度日本児童演劇協会個人賞受賞。民族楽器パフォーマー。中国武術八卦掌の研究。

【概要】ウォーミングアップの日常化の方法を身に付ける。心とからだの柔軟性を考え合う。人と人との間と気迫を稽古。即興太鼓演奏と即興身体表現など。

*講座内容については2016年度を基にしていますので、変更する場合もございます。

児演協とは

子どものために演劇を行うプロの専門劇団協同組合。「児童青少年演劇の職業的基盤の確立」、「児童・青少年演劇人の健康と生活の擁護」、「児童青少年演劇に関わる全国的な課題の実現」の三つを目標としている。加盟劇団のジャンルは幅広く、舞台劇、人形劇、影絵劇、パフォーマンスなど多岐にわたります。

面接希望の方、募集要項をお求めの方は、下記にご記入の上FAXまたは、メールにてご請求ください。

児演協 しばいの大学 2017年度年間受講生募集——募集要項希望

FAX: 03-5909-3065 E-mail: info@jienkyo.or.jp

ふりがな				所属団体		
氏名				E-mail		
電話番号				年齢		
ご住所	〒	-				才
面接希望日	5/14 18:00~			6/18 14:00~		

【お申込み・お問合せ】 日本児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2-4 (平日10:00~18:00)

TEL. 03-5909-3064 FAX. 03-5909-3065 E-mail: info@jienkyo.or.jp http://www.jienkyo.or.jp/